



須賀川三中進路通信

No. 8
令和7年9月5日発行

【 入試制度について知ろう！① 】

「進路通信」では、入試制度、日程、手続きなどについて、何處かに分けてご説明いたします。ぜひ、3年生だけでなく、1・2年生にも、少しづつ入試制度についての理解を深めてほしいと思います。

令和8年度 福島県立高等学校入学者選抜について

県立高校入学者選抜に向けての動きは、毎年7月中旬に、各高校から『選抜方法一覧』が発表され、スタートします。3年生には夏の教育相談で配付済です。この『選抜方法一覧』には、各高校の前期選抜、後期選抜における選抜方法（学力検査が何点、調査書が何点、特色検査や特色面接、一般面接の有無や方法など）やその高校の入試全体についての概要が記載されており、最終版は11月に発表されます。その後、『前期選抜募集要項』で、日程や持参物、特色選抜で該当となる部活動などの詳細が発表されます。

裏面に県立安積黎明高校の『選抜方法一覧』を掲載します。安積黎明高校の特色選抜は「学力検査」の傾斜配点などが、昨年までと大きく変更されました。点数が小さい字で申し訳ありませんがご覧ください。『学力検査』は福島県内すべての県立高校で共通の問題ですが、学力検査や調査書の配点、面接の有無などは高校によって異なります。福島県教育委員会のホームページですべての高校について見ることができます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/r7koukounyushi.html>

令和8年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

【調査票】

学校番号	学校名	課程
16	福島県立安積黎明高等学校	全日制

昨年度から『アドミッション・ポリシー（入学受け入れ方針）』が公表されるようになりました。「どのような生徒に入学してほしいか」が示されています。

本校では、次のような生徒の入学を求めています。

- ①確かな学力を身に付け、自己実現に向けて自ら考え、行動する意欲のある生徒
- ②失敗を恐れず、粘り強く継続して努力できる生徒
- ③部活動や特別活動などの学校生活においてリーダーシップを発揮できる生徒
- ④校訓「怒」の精神を理解し、

『前期選抜』は、『特色選抜（志願して欲しい生徒像）に応じた自分の志願したい高校を主体的に選択し出願できる選抜』と『一般選抜（中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜）』があります。『特色選抜』と『一般選抜』を併願することも可能です。

【前期選抜】

特色選抜

アドミッション・ポリシー

大学科 小学科	募 集 定 員 棒	志願してほしい生徒像
普通科	10% 程度	本校は、「高い学力と思いやりの心情を持ち、多様な人々と協働しながら諸課題を解決し、社会の各領域が求めるリーダーとして地域及び国際社会を創造する人材を育成する」というスクール・ミッションのもと、確かな学力を育み、主体性や協働する力を伸ばす教育を行っています。 特色選抜では、以下のいずれかの要件を満たす者を求めています。 A型：中学校における部活動や地域クラブ活動、生徒会活動等で積極的に活動し、その経験を生かして、本校における部活動やその他の活動の活性化に向けて中心となって取り組み、学業と両立させる強い意志をもつ者 B型：中学校において音楽系の部活動または地域の楽団等に所属して積極的に活動し、入学後に本校の以下の音楽系部活動で中心となって取り組み、学業と両立させる強い意志をもつ者 ・コーラス部（合唱部）　　・吹奏楽部　　・クラシック部（弦楽合奏部）

選 抜 資 料

学 力 檢 查	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 察	選 択 資 料 の 満 点	備 考
5教科とする。各教科の満点を50点とし、合計250点満点とする。	本校の普通科への志望動機及び将来への抱負、学習と自主的活動等について本人が記入する。	A型、B型の両方について、「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の教科の評定を2倍とし、195点満点とする。 「特別活動等の記録」及び「長所・特技等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。 部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は総合的に評価し、点数化する。	A型、B型の両方について、個人面接を行う。学びに向かう力や自己表現する力等を見る。面接については点数化し、20点満点とする。	A型志願者については、プレゼンテーションを実施する。プレゼンテーションについては点数化し、100点満点とする。 B型志願者については、実技を実施する。実技については点数化し、100点満点とする。	全 体 の 満 点 は、A型、B型	

『特色検査』では、部活動などの実技、プレゼンテーションなどが行われます。特色選抜受験者でも『特色検査』を実施しない高校もあります。

通常、「学力検査」は
50点×5教科=250点満点

ですが、須賀川桐陽高校数理科学科の『特色選抜』では数学・理科の得点を1.5倍して300点満点とします。このような『傾斜配点』を実施する高校・学科もあります。

調査書の教科の評価についても、
5段階×9教科×3年分=135点
または音、美、保体、技家の評定を**2倍して、195点満点**とする高校がほとんどですが、特定の教科の評定を2倍するなどの『傾斜配点』を実施する高校もあります。

特色選抜受験者が受ける面接試験を『特色面接』、一般選抜受験者が受ける面接試験を『一般面接』といいます。

自分が受験する高校では面接試験があるのかないのか、集団面接なのか個人面接なのかは、ここで確認します。

通常、「学力検査」は

$$50\text{点} \times 5\text{教科} = 250\text{点満点}$$

ですが、須賀川桐陽高校数理科学科の『特色選抜』では数学・理科の得点を1.5倍して300点満点とします。このような『傾斜配点』を実施する高校・学科もあります。

調査書の教科の評価についても、
5段階×9教科×3年分=135点
 または音、美、保体、技家の評定を**2倍して、195点満点**とする高校がほとんどですが、特定の教科の評定を2倍するなどの『傾斜配点』を実施する高校もあります。

特色選抜受験者が受ける面接試験を『特色面接』、一般選抜受験者が受ける面接試験を『一般面接』といいます。

自分が受験する高校では面接試験があるのかないのか、集団面接なのか個人面接なのかは、ここで確認します。

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	学力検査		選抜資料		学力検査と調査書の成績の比重	備考
		調査書	一般面接				
普通科	(280)	5教科とする。各教科の満点を50点とし、合計250点満点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」、「長所・特技等の記録」、部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は点数化しないが内容を精査する。	実施しない。	同等とする。		

『後期選抜』は、『前期選抜』で定員を満たさなかった高校・学科でのみ実施されます。

【後期選抜】
 「学力試験」は行いません。「調査書」と「面接試験」、「小論文または作文」で合否判定が行われる高校が多いです。「面接試験」の中で教科の学習内容に関する質問をする高校もあります。

【後期選抜】

大学科 小学科				小論文（又は作文）	
	調査書	面接			
普通科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」、「長所・特技等の記録」、部活動や地域クラブ活動等の実績や取組等は点数化しないが内容を精査する。	個人面接を実施する。本校で学ぶことについての適性をみる。 面接については、段階評価する。		小論文を課す。 課題文を読み、自らの考えをまとめる思考力、判断力、表現力を問う。 小論文については点数化し、100点満点とする。	